平成31年度　芸術

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
芸術	音楽Ⅰ	選択	1+1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	MOUSA1（教芸）
②	自作教材	プリント教材（リコーダー）
③	自作教材	プリント教材（鑑賞）
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし音楽文化についての理解を深める。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

音楽の基礎的な知識や理論を学び、楽器や歌での表現を実践します。鑑賞や、演奏発表で表現方法を磨きます。グループでのアンサンブルも行います。

特記事項

必履修科目。「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」または「書道Ⅰ」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとする。	観察、ワークシートなど
B	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持っている。	観察、実技テスト、発表、ワークシートなど
C	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創作的に表している。	観察、実技テスト、発表、ワークシートなど
D	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し。それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察、ワークシートなど
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	発声法の基礎(A) アルトリコーダー奏法の基礎(ABC) 鑑賞①(AD)	A B C D	歌う時の姿勢と理想的な発声法・呼吸法について学び、正確な発音や豊かな響きを習得する。(A) 楽器の扱い方、構え方、演奏姿勢を学び、理想の音色を追求する。(ABC) 正確な読譜能力を習得する。(AB) 発表時において高い集中力を維持することができる。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分けることができる。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1
	第二中間まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	独唱(ABC) アルトリコーダー楽曲①(ABC) 鑑賞②(AD)	A B C D	正確な発音や豊かな響きを習得する。(AC) 歌詞と旋律の結びつきを味わう。(AB) リコーダーの理想の音色と多様な音色の変化を追求する。(ABC) 正確な読譜能力を習得する。(AB) 発表時において高い集中力を維持することができる。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分けることができる。(AD) 様々な音楽様式を知り、作曲者の心情や当時の様子を感じ取ることができる。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1
	期末まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	二重唱(ABC) 箏とアルトリコーダーのアンサンブル(ABC) 創作(ABC) 鑑賞③(AD)	A B C D	正確な発音や正しい音程を維持して歌うことができる。(AC) 歌唱の表現力を高める工夫をすることができる。(AB) リコーダーの理想の音色と多様な音色の変化を追求する。(ABC) 箏の音色や奏法の特徴を生かし表現を工夫して演奏する。(ABC) 音階の役割を理解し、それらの働きを感受し音楽を作る。(ABC) 発表時において高い集中力を維持することができる。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分けることができる。(AD) 様々な音楽様式を知り、作曲者の心情や当時の様子を感じ取ることができる。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1
後期	第一中間まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	合唱①(ABC) アルトリコーダーアンサンブル①(ABC) 鑑賞④(AD)	A B C D	正確な発音や正しい音程を維持して歌うことができる。(AC) 歌唱の表現力を高める工夫をすることができる。(AB) リコーダーの理想の音色と多様な音色の変化を追求する。(ABC) 正確な読譜能力を習得する。(AB) 発表時において高い集中力を維持することができる。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分けることができる。(AD) 様々な音楽様式を知り、作曲者の心情や当時の様子を感じ取ることができる。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 グループ練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1
	第二中間まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	合唱②(ABC) アルトリコーダーアンサンブル②(ABC) 鑑賞⑤(AD)	A B C D	正確な発音や正しい音程を維持して歌う。(AC) 歌唱の表現力を高める工夫をする。(AB) リコーダーの理想の音色と多様な音色の変化を追求する。(ABC) 正確な読譜能力を習得する。(AB) 発表時において高い集中力を維持する。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分ける。(AD) 様々な音楽様式を知り、作曲者の心情や当時の様子を感じ取る。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 グループ練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1
	期末まで	① ② ③	歌唱 器楽 鑑賞	12	合唱③(ABC) アルトリコーダーアンサンブル③(ABC) 鑑賞⑥(AD)	A B C D	歌唱の表現力を高める工夫をすることができる。(AC) リコーダーの理想の音色と多様な音色の変化を追求する。(ABC) 発表時において高い集中力を維持することができる。(A) 他人の演奏発表について音色や表現の違いを聞き分けることができる。(AD) 様々な音楽様式を知り、作曲者の心情や当時の様子を感じ取ることができる。(AD)	全体練習 個人練習 ペア練習 発表会 ワークシート（鑑賞）	練習態度 練習方法の工夫 発表時の表現力 提出物	5 4 3 2 1